

原料費調整制度に基づく都市ガス料金単価の調整について (2009年1月 ~ 2009年3月 検針分)

2008年7月から9月のLNG及びLPGの貿易統計値が発表されました。原料価格変動額が調整バンド(2,440円/トン)を超えているため、当社は原料費調整制度に基づき、基準単位料金を調整させていただくこととなりました。

2009年1月から3月検針分の従量料金単価は、2008年10月から12月検針分に比べ、 1m^3 (46.1MJ)当り10.9032円(消費税込)の値上がりとなります。

●従量料金単価 (消費税込)

	単位	2008年10月 (A) ~ 2008年12月	2009年1月 (B) ~ 2009年3月	(B)-(A)
A料金表 ($0\text{m}^3 \sim 24\text{m}^3$)	円/ m^3	236.1724	247.0756	10.9032
B料金表 (24m^3 を超える)	円/ m^3	178.8214	189.7246	10.9032

従量料金単価 = 基準単位料金 + 調整額

●平均原料価格

	単位	2008年4月 ~ 2008年6月	2008年7月 ~ 2008年9月	基準平均原料価格
LNG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	62,860	74,700	
LPG平均価格 (貿易統計値)	円/トン	87,900	98,890	
平均原料価格	円/トン	64,570	76,410	48,740

平均原料価格 = LNG平均価格 \times 0.9471 + LPG平均価格 \times 0.0573 (10円未満端数四捨五入)

※平均原料価格が77,980円以上となった場合は77,980円

原料価格変動額 = 平均原料価格 - 基準平均原料価格

= 76,410 - 48,740 = **27,600** 円/トン (100円未満端数切捨て)

原料価格変動額が調整バンド(1,410円/トン)を超えているため従量料金単価を調整します。

●調整額の算定について

調整額 = 0.088円 \times 原料価格変動額 / 100円 \times (1 + 消費税率)

= 0.088円 \times 27,600 / 100円 \times (1 + 0.05) = 25.5024 円/ m^3
(小数点第5位以下端数切捨て)

●標準家庭のご使用例(1ヶ月分)

1ヶ月分使用量(m^3)	2008年10月 (A) ~ 2008年12月	2009年1月 (B) ~ 2009年3月	影響額 (B)-(A)
32	7,818	8,166	348